

教育長日記 (平成28年7月11日)

# 青い空に浮かぶ白い雲 105

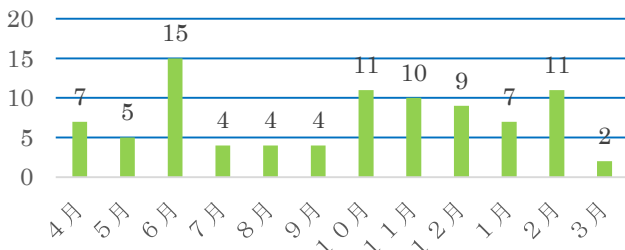
## —多様な学び / AI (人工知能) 脅威の進化—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

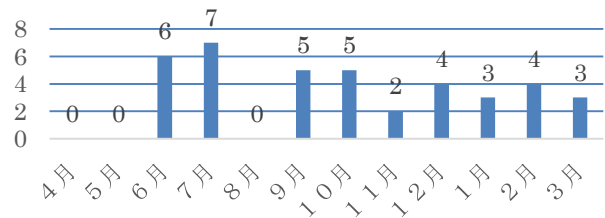
### 東大和市郷土博物館と学校との連携協力

郷土博物館と学校との連携・協力が進んでいます。また、東大和市以外の学校の利用も少しずつ増えてきています。博物館職員による学習支援活動や最新鋭のプラネタリウム投影機「メガスターⅡB」から宇宙の仕組みを学ぶことなど、多様な学びの機会が身近に得られます。ぜひ積極的に活用してください。

郷土博物館からの月別講師派遣数 (人)



プラネタリウム観覧月別学校数 (校)



#### 《他市等の学校からの利用》

【立川】第十小、若葉小、柏小      【武蔵村山】第三小、村山学園、大南学園第七小、雷塚小、市適応指導教室  
【青梅】四小      【奥多摩】氷川小      【都立】村山特別支援学校

### AI (人工知能) 脅威の進化

ひと月ほど前に、NHKスペシャル「天使か悪魔か 羽生善治・人口知能を探る」という番組に出会いました。

将棋や囲碁の名人を次々と破り、医師が見逃すような小さながんを見つける人工知能。さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックまでには、なんと、人間がハンドルを握ることなく、人工知能を搭載した車が運転を肩代わりする。そんな時代が現実になろうとしています。

私が最も脅威に感じたことは、人工知能に感情をもたせる研究が急速に進んでいるという部分でした。ロボットAが組み立てたブロックを、別のロボットBに「崩せ」と指示を出す、その指示に対してロボットBは「ワタシニハ デキマセン」と応え、「なぜだ」との問いに「トモダチガ カワイソウデス」と応える。ロボットに繰り返し学習させることによって、その時の感情さえも表現できるようになる。さらには、相手が今、何を思い、何を感じているのかについてまで、私たち人間よりも詳しく把握できるように進化していく可能性があるということでした。

この先、人工知能がさらに複雑な感情をもつようになっていくと、人工知能が人間を支配する、まさに「天使か悪魔か」といった場面がやってくると思います。

番組の最後に羽生さんが「私が日々考え続けていること、それは、人間にしかできないことは何かということですよ」と言葉を残されました。

「人間にしかできないこと」 私が思い浮かべたことは、「人間らしく生きていくこと」でした。